

獨協大学 ニュース

DOKKYO UNIVERSITY
NEWS

11

2020

VOL.470

Special Report

就職活動の強い味方!キャリアセンターを活用しよう

2020年度春学期

「学生による授業評価アンケート」実施報告



Cover View

創立50周年記念館(西棟)3階 ガーデン・スクエア

 DOKKYO UNIVERSITY

就職活動の強い味方! キャリアセンター を活用しよう



今年4月、政府の緊急事態宣言が発令されると、予定されていた多くの会社説明会が中止となり、面接がオンラインに切り替わるなど、就職活動にも大きな影響を与えました。こうした状況を踏まえ、今回の特集では、岡田圭子キャリアセンター所長に、主に3年生に伝えたいことを伺いました。

「就活ホットライン」を実施

大学への入構が制限される中、キャリアセンターでは5月から6月に、スタッフが新4年生全員に電話をかける「就活ホットライン」を実施しました。これにより学生の状況や企業の動向を把握し、一人一人への最適なアドバイスを行うことができました。4年生から多く聞かれたのは「自分だけが就職活動ができていないのではないか」という不安の声でした。これには学生間で、就職活動の情報交換があまりできなくなってしまった影響を感じました。この声を受け、オンラインで同級生同士の情報交換の場を設けるなど、「就活ホットライン」で聞くことができた内容を、その後のキャリアセンターの取り組みに活かしています。

3年生にお願いしたい2つの「準備」

主に3年生が対象となる2022年3月卒の就職活動は、まだ採用計画が明らかになっていない企業が多いため、不透明な部分が多くあります。その状況の中で、3年生に今行ってほしいのは2つの準備です。1つ

目の準備は自己分析です。自己分析とは、これからの生き方を選択するために、自分の今までの人生を振り返ることで、自分の価値観やしたいこと、できること等を洗い出し「自分を知る」作業です。2つ目の準備は業界・企業研究です。これは、社会にどのような業界や企業があるのかを調べ理解を深める、いわば「相手を知る」作業です。この2つの作業を行うことが、自分の志望企業や業界を定める上で必要不可欠です。いずれの準備についてもPorTaⅡの「キャリア・就職支援」掲示板に解説動画がありますので、特に3年生には見てほしいと思います。

とにかくPorTaⅡを見てほしい

「就活ホットライン」を実施して分かったのは、学生がキャリアセンターの取り組みを知らないということです。キャリアセンターでは大学への入構制限がかかってから、ガイダンスや講座をオンライン配信し、今では50本を超える動画配信やLIVE講座を開催してきました。また、卒業生が残してくれた2年分の就職活動体験記(3ページ参照)や、図書館との連携による就職活動で役立つ電子書籍も、公開しています。自己分析や業界・企業研究、その後の就職活動を行っていくうえでの情報収集は特に意識してほしいことです。

コロナ禍で不安なこともあるかと思いますが、「早めの準備」が大切であることはこれまでと何かわりません。

みなさんが納得いく進路を決定することができるよう、これからもキャリアセンターのスタッフは全力でサポートします。

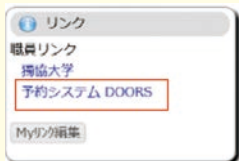
PorTaⅡで 情報収集



掲示

各種講座・イベント・求人などの最新情報はPorTaⅡで随時配信しています。掲示板「キャリア・就職支援」を要チェック。配信日順で確認できます。

予約システム DOORS



キャリアセンター内での相談や資料閲覧は要予約です。PorTaⅡにログイン後、リンクから予約システムDOORSへ進んでください。

感染防止対策



新型コロナウイルスへの感染対策として、入室時の手の消毒やソーシャルディスタンスの確保、パーティションの設置などを行っています。もちろんスタッフ全員がマスクを着用し、感染対策万全でみなさんをお待ちしています。



① 調べる

ホームページで

電子書籍・データベースで調べる



図書館が提供するオンラインサービス。就職活動の参考になる電子書籍や、データベースを通して新聞・雑誌記事・企業情報などを閲覧可能です。

獨協大学HP「大学に来られなくても、図書館で学ぼう。」

PorTaIIで

大学所定履歴書もダウンロード可能

就職活動の必須アイテムです。PorTaIIからダウンロードしてください。



PorTaIIで

卒業生の汗と涙の結晶「就職活動体験記」

卒業生の就職活動を卒業生自らが記録した、獨協大学キャリアセンターの宝。獨大生が後輩のために記したアドバイスが満載です。PorTaIIで過去2年分を閲覧可能。



DOORSで予約

大学で「資料閲覧」「求人票閲覧」

『日本経済新聞』はもちろん、トレンドや業界特有の情報に関する豊富な資料を揃えています。また、びっしりと貼られた求人票の中から意中の企業を探すこともできます。「キャリアセンターに来て、たまたま目に留まったものに有益な情報が」といったこともあるかもしれません。



PorTaII・DOORS

「OB・OG照会」

就職活動においてOB・OG訪問は有効な手段。PorTaIIで志望企業に卒業生が在籍するか確認し、在籍する場合には、大学で連絡先を調べることができます。



② 相談する

DOORSで予約

At home



Zoomを利用してオンライン相談ができます。資料の共有などをしながら履歴書やエントリーシートの添削も可能です。自宅にいながら、気軽に対面さながらの相談ができます。

On campus



アドバイザーとの対面相談を実施しています。インターンシップやエントリーシートをはじめ様々な相談にお応えしています。是非気軽に足を運んでみてください。



③ 参加する

PorTaIIで

講座やガイダンスはYouTubeでの動画配信やZoomでのオンラインライブにて実施しています。まずは「就職ガイダンス」で就職活動の基礎知識を得ましょう。



ガイダンス、学内イベント告知動画



業界研究
セミナー



OB・OG
企画



自己分析



筆記試験

キャリアセンターマップ



キャリアセンター所在地：天野貞祐記念館1階

バーチャル
キャリアセンター
ツアーへ



A DEAN MESSAGE
学部長メッセージ今こそ、
自らへの投資を

経済学部長 倉橋 透

KURAHASHI Toru
博士(工学) 東京大学

- 専門
不動産バブルの研究
空家の研究
住宅金融のあり方の研究
- 担当科目
都市経済学

空機産業、自動車産業を挙げた。自動車産業については「ほとんどの人はマイカーを短期間で買い替える必要などないと気づいた」とした。プラスチックなどの化学産業、アパレル産業もこの部類とし、「石炭や石油に関連する産業も持続的な有用性を持たない」と述べた。

一方、アタリ氏は、重要性を増す産業も指摘し、これを「命の経済」と呼んでいる。中核に挙げるのは、健康を守る医療産業全般(病院はもちろん、製薬業界、人工装置、医療機器なども含む)、清潔を保つ部門、食糧、農業である。教育部門(「命の経済」で働く人材の育成。社会人の転職支援も含めて)、デジタル関連産業、研究、再生可能エネルギー、治安維持、ジャーナリズム、芸術、文化、保険、金融なども「命の経済」に属する、とした。

アタリ氏は、将来世代のために働く社会(「ポジティブな社会」という)をつくる必要性を論じている。その際、個人主義から将来世代への利他主義への転換が必須であることを指摘した。

さらに「われわれは今回の危機を教訓とすべきであり、この教訓を活かさないのなら、人類は当然の報いを受けることになる」として講演を締めくくった。

後半のパネルディスカッションでは、植村公一氏の司会で内田和成氏、隈研吾氏、米倉誠一郎氏を交えて、議論がなされた。

最後に、(一社)環境未来フォーラムの

先日、(一社)環境未来フォーラム代表理事 前田武志・元国土交通大臣 等が共催で行った、オンライン国際シンポジウム「欧州の知性・ジャック・アタリ氏、ウィズ・コロナ時代の『街・人・世界』を読み解く」に参加する機会があった。同シンポジウムは、フランスにいるアタリ氏(経済学者、思想家)と、日本にいるパネリスト及び聴衆をオンラインで結んで行われたもので、何と4200名が参加した。この場では、アタリ氏の講演を紹介するとともに、筆者が感じたことを述べてみたい。

この講演は、10月16日発売の新著『命の経済』パンデミック後、新しい世界が始

前田武志代表理事から「ポジティブな社会の基盤として低炭素循環型まちづくり、SDGsのまちづくりを皆様とともに進めていきたい」との挨拶があった。

なお、当日の様子は、(一社)環境未来フォーラムのホームページに紹介されているので、参照していただきたい。

特に、印象的であったのは、学生からの質問で「未来世代の私たちが、自分たちの未来、『命の経済』のために学ばべき学問は何でしょうか?」というものがあつたことである。この質問の回答として、アタリ氏は多岐にわたる学問分野を挙げた。

「未来世代である私たちが、自分たちの未来のために学ばべき学問は何でしょうか?」これが筆者が学生の皆さんに最も持っていたきたい問いである、疑問である。皆さんの未来は、結局皆さんが切り拓くしかない、大学は全力でそれを助ける役割を果たす。学生の皆さんには、今こそ自らに投資をしていただきたい。この時期を前向きに捉えて資格を取得したリスキルを身につけた人と、ただ惰性で過ごした人とは、将来大きな差がでてくるであろう。また、現在のような変化の激しい時代では、学び続けることが非常に重要である。そのためには、学び方を学ぶことも必要である。

皆さんの将来を決めるのは、皆さんご自身である。い尽力に期待する。

秋学期授業開始

10月3日から秋学期の授業を開始した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、春学期は全ての授業をオンラインで実施したが、秋学期は土曜日のみキャンパス内での対面授業を再開した。再開にあたり、学生証IC認証による入退構者の管理や検温、消毒など、感染症拡大防止対策を徹底している。

スポーツ・レクリエーションに参加した1年生の学生は「初めてクラスメイトに会えて安心した」と笑顔で語った。本学は引き続き感染状況を踏まえ、オンライン授業に加え一部対面授業を並行して行う予定である。



防災訓練を実施 安否確認訓練では学生の約60%が参加

10月15日、防災訓練を実施した。今年はキャンパス内への入構制限をかけているため、グラウンドへの避難訓練を中止するなど、規模を縮小して開催した。2時限目の授業終了直前に行ったシェイクアウト訓練では、それぞれが訓練音源に合わせ、遠隔授業受講中の学生も含め自宅などで机の下に隠れ、頭を守るといった安全確保行動を取った。安否確認訓練は、これまで教職員のみを対象を、PorTaIIを活用して学生まで拡大。全学生の59.6%にあたる5019名の参加があった(10月16日現在)。



防火戸・防火シャッター開閉訓練(左)、非常用トイレ設営体験(右)の様子

また職員による個別訓練では、防火戸・防火シャッター開閉訓練、車いす等利用者の避難誘導訓練などを実施。さらにLEDランタン利用訓練では、教室内を消灯し停電時と同じ状況を作り、避難者が安心できる環境の検証や、非常用トイレの設営体験などを行った。

学友会活動再開

8月20日、一部の学友会団体が活動を再開した。新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底するため、団体には独自の感染予防ガイドラインの作成や健康観察が義務付けられた。さらに、新型コロナウイルス感染症の正しい知識を学習し、部員全員が和田智学友会体育部長作成のチェックテストに合格した上で活動が認められた。

活動再開初日となったこの日は、人工芝グラウンドで活動に励む学生の姿が見られた。和田体育部長は「本学では、学友会活動を教育活動と位置付けているため、どうすれば再開できるかを議論してきた。こうした状況下で何ができるか考え、行動することが学生の成長につながる」と語った。



2020年度9月卒業式を举行

9月27日、2020年度9月卒業式・学位記授与式を挙行し、120名の卒業生が巣立った。当日は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、会場を天野貞祐記念館大講堂から創立50周年記念館(西棟)の各教室に変更し、参加者を卒業生と教職員のみに限定した。

学部ごとに教室を分けて行った式典では、卒業生全員の氏名を読み上げた後、学部長が代表学生2名に学位記を授与。その後の学長式辞では、教室のスクリーンに山路朝彦学長が投影され、卒業生にはなむけの言葉を送った。

学位取得者数は次のとおり。

■学 士 独16名、英8名、仏5名、交7名、言20名、済12名、営24名、環10名、律7名、関関法6名、総5名 計120名



ONLINEオープンキャンパスを開催

6月から8月にかけて、「ONLINEオープンキャンパス」を計11回開催した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年キャンパス内で開催しているオープンキャンパスをオンライン上で実施した。本学としては初の試みであったが、受験を控えた高校3年生や、大学進学を考えている高校1、2年生、ご父母など多くの参加があった。

今回のONLINEオープンキャンパスでは、大学紹介のほか、入試制度説明、Zoomによる個別相談、受験勉強や学生生活など高校生の質問に獨大生が答える企画などを行い、いずれも多くの反響があった。



2020年度「子ども大学そうか」開催される

10月10日、草加市立谷塚文化センターで「子ども大学そうか」の入学式が行われた。これは、草加市内の小学5、6年生が学ぶ「子どものための大学」で、入学式には小学生22名が出席し、冒頭、山路朝彦学長から挨拶があった。

その後、ドイツ語学科のカトリン・ニーヴァルダ専任講師による「ドイツ語で遊ぼう!」と題した講義が行われた。緊張した面持ちの児童に対し、ニーヴァルダ講師は笑顔で授業を展開。室内には次第に小さな「学生」たちの元気なドイツ語が響くようになった。



2020年度春学期

「学生による授業評価アンケート」実施報告

【実施概要・調査方法】

2020年度春学期「学生による授業評価アンケート」は、原則、第11回目あるいは第12回目の授業日(最終授業日)(8月3日～15日)の指定クラスにて教員から学生への指示の下で行いました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により遠隔授業となり、リアルタイム型以外の授業では授業中に教員から学生へ指示を出すのが難しいため、対象となる全ての学生に対して、8月3日～8月16日の間に各自アンケートに回答するようPorTaII個人向け掲示板や電子メールなどにより呼びかけました。

アンケートはアンケートA(選択式)とアンケートB(自由記述)の方式をとり、アンケートAでは授業ごとに「学生の出席状況」「授業に関する5項目の質問」「授業の問題点」について選択肢を設けました。アンケートBでは学生からの要望・意見を記述式で求めました。

また、回答者の授業評価が一定以上出席した上での判断であるかどうかを把握するために出席状況を確認し、「24%以下」「ほぼ全回欠席」と回答した人に対しては、低出席の理由を回答する選択肢を設けました。

【集計方法】

アンケートAは授業ごとの満足度を集計しました。アンケートBは学科・学年・出席状況の入力と、自由記述部分は回答者が入力した原文をそのまま集計しました。なお、集計の際には学生個人を特定するデータは一切含まれていません。

【集計結果】

以下の全体集計結果をご参照ください。

【教員へのアンケート結果の報告】

アンケートAおよびアンケートBの集計結果については、各教員は8月26日から各自の担当科目についてPorTaIIで閲覧可能となっています。

また、各教員が自身の授業への評価が全学でどの位置にあるかを把握できるよう、担当する授業の評価と全学平均を比較表示した資料を個別配付しました。資料では、授業に関する5項目の質問の回答を「そう思う＝1.5」「ややそう思う＝0.5」「あまりそう思わない＝0.5」「そう思わない＝1.5」「わからない＝0」として、平均値を算出し、評価指数としました。

なお、アンケートAおよびアンケートBとも回答者が特定できないようにシステム設計されています。

【今後の方針】

授業評価アンケートにより、教員は学生の授業に対する評価・感想・要望などを知ることができ、授業計画の修正や、授業方法の改善を図ることができます。授業評価アンケートは学生の意見を取り入れながら授業の質や教育効果を高めていく手段として重要なものです。

本学ではアンケート結果に対する各教員からの学生へのフィードバックを公表する制度(※)を継続して実施しています。授業に対する教員・学生の理解が互いに深まり、よりよい授業が展開されるよう取り組んでいきたいと考えています。

※学生へのフィードバック公表制度について

各教員の任意によりフィードバックが寄せられます。内容は評価結果について

①項目別の納得度および項目別の意見・感想、②全体の納得度、③全体の意見・感想が記されています。フィードバックは、PorTaIIにより当該科目の受講生限定で9月28日から随時公表しています。

2020年度春学期「学生による授業評価アンケート」全体集計結果

2020年度春学期「学生による授業評価アンケート」の授業形態別(講義・外国語・演習・体育)の全学的な平均値を報告します。

1 授業形態別 出席状況(全学平均)		単位 %							
項 目	選択肢	講 義		外国語		演 習		体 育	
		20春学期	19春学期	20春学期	19春学期	20春学期	19春学期	20春学期	19春学期
出席状況	100～75%	92.2	71.3	96.1	88.9	94.0	86.8	93.3	81.7
	74～50%	5.1	15.5	2.8	6.3	4.6	8.8	4.4	8.5
	49～25%	1.2	6.3	0.5	1.0	0.8	1.6	2.2	2.0
	24%以下	0.7	2.2	0.3	0.8	0.2	0.8	0.0	1.5
	ほぼ全回欠席	0.8	2.9	0.3	1.2	0.4	0.4	0.0	4.6
	不明(未記入)	0.0	2.8	0.0	2.3	0.0	2.5	0.0	2.2

3 授業形態別 授業評価(全学平均)		単位 %							
項 目	選択肢	講 義		外国語		演 習		体 育	
		20春学期	19春学期	20春学期	19春学期	20春学期	19春学期	20春学期	19春学期
1. この授業の目標設定と内容は適切であった	そう思う	63.3	51.8	68.0	63.6	75.6	74.7	75.6	78.1
	ややそう思う	26.5	33.3	23.8	26.6	19.7	20.2	17.8	13.6
	あまりそう思わない	5.8	7.2	5.1	5.0	2.3	2.7	4.4	1.7
	そう思わない	3.0	2.7	2.2	2.3	1.3	0.7	0.0	0.9
	わからない	1.4	5.1	0.9	2.5	1.1	1.8	2.2	5.7
	評価指数(ポイント)	1.0	0.9	1.1	1.0	1.2	1.2	1.2	1.2
2. この授業の担当教員の説明はわかりやすかった	そう思う	54.7	47.3	58.5	59.0	73.0	74.3	77.8	75.3
	ややそう思う	27.6	32.5	26.3	27.3	20.0	19.9	17.8	14.7
	あまりそう思わない	10.0	10.5	9.5	7.7	4.0	3.2	2.2	3.1
	そう思わない	5.9	4.7	4.1	3.5	2.0	1.0	2.2	1.0
	わからない	1.7	5.0	1.6	2.4	0.9	1.7	0.0	5.8
	評価指数(ポイント)	0.8	0.7	0.9	0.9	1.1	1.2	1.2	1.2
3. この授業は知的関心・教養を高めたり、専門的知識・技能を身に付ける上で役立った	そう思う	59.0	49.4	62.7	60.3	73.5	74.6	66.7	73.3
	ややそう思う	28.8	33.1	27.3	28.1	21.6	19.6	26.7	15.6
	あまりそう思わない	7.4	8.9	6.3	6.3	2.9	3.2	6.7	3.2
	そう思わない	3.4	3.5	2.7	2.8	1.4	0.7	0.0	1.4
	わからない	1.4	5.1	1.0	2.5	0.6	1.8	0.0	6.4
	評価指数(ポイント)	0.9	0.8	1.0	1.0	1.2	1.2	1.1	1.1
4. この授業の難易度・進度は自分にとって適切であった	そう思う	53.0	45.8	57.4	55.9	66.8	70.9	68.9	72.4
	ややそう思う	29.5	34.3	29.2	28.5	24.1	21.7	22.2	15.9
	あまりそう思わない	10.4	10.2	8.8	8.8	6.2	4.3	4.4	3.9
	そう思わない	5.4	4.2	3.5	4.3	1.8	1.0	2.2	1.7
	わからない	1.6	5.5	1.0	2.5	1.1	2.1	2.2	6.0
	評価指数(ポイント)	0.8	0.7	0.9	0.9	1.1	1.1	1.1	1.1
5. この授業の担当教員は学生の質問や要望に応えた	そう思う	56.9	48.9	63.4	62.1	76.1	76.4	60.0	73.9
	ややそう思う	25.5	32.7	23.4	26.1	17.4	18.1	20.0	14.5
	あまりそう思わない	7.3	8.2	6.0	5.4	2.5	2.5	8.9	2.3
	そう思わない	4.6	3.2	3.0	2.7	1.3	0.8	4.4	2.0
	わからない	5.7	7.0	4.1	3.7	2.7	2.3	6.7	7.3
	評価指数(ポイント)	0.9	0.8	1.0	1.0	1.2	1.2	0.9	1.1

	対象者数	回答者数	回答率
20春学期	8,436	3,061	36.28%
19春学期	8,565	6,140	71.69%

注：2019年春学期までは紙媒体でアンケートを実施しています。

2 授業形態別 低出席者率・理由(全学平均)		単位 %							
項 目	選択肢	講 義		外国語		演 習		体 育	
		20春学期	19春学期	20春学期	19春学期	20春学期	19春学期	20春学期	19春学期
低出席理由	授業内容に不満	39.7	20.6	42.9	28.3	0.0	1.6	0.0	14.7
	必修科目外	18.3	22.5	19.0	13.4	7.7	3.3	0.0	35.3
	アルバイト	9.7	11.7	7.1	11.2	15.4	13.1	0.0	5.9
	就職活動	15.6	21.7	19.0	13.7	38.5	68.9	0.0	30.9
	クラブ・サークル	0.4	2.2	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	2.9
	不明(未記入)	28.4	25.2	26.2	34.7	46.2	16.4	0.0	13.2

注1：「低出席者率」とは、出席状況「24%以下」「ほぼ全回欠席」を選択した人の率を指しますが、回答者の評価がその授業に一定程度出席した上での判断かどうかを把握するための作業上の基準であり、履修上必要な最低限の出席頻度を意味するものではありません。

注2：複数回答可。値は低出席者数における回答数で表したものです。

4 授業形態別 授業の問題点(全学平均)		単位 %							
項 目	選択肢	講 義		外国語		演 習		体 育	
		20春学期	19春学期	20春学期	19春学期	20春学期	19春学期	20春学期	19春学期
授業の問題点	テキストや教材が適切でない	4.0	1.4	1.8	1.4	1.4	0.3	2.2	0.2
	宿題・課題が適切でない	7.0	0.9	5.9	1.9	2.9	0.9	2.2	0.1
	板書が見えにくい	1.2	3.3	1.1	1.5	0.3	0.2	0.0	0.0
	教員の話が聞き取りにくい	3.7	3.8	4.1	3.2	1.8	0.8	0.0	0.7
	学生の私語が多い	0.1	2.4	0.1	1.7	0.0	0.6	0.0	0.2
	未指示休講がある	0.3	0.1	0.5	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1
	教員の遅刻・早退が多い	0.4	0.6	1.1	0.7	0.0	0.4	0.0	0.0
	その他	2.3	0.9	2.5	1.1	1.0	0.5	0.0	0.9

注：複数回答可。値は「回答者÷対象者数」で算出しています。

アンケート結果について(授業評価部分)

講 義 各項目における「そう思う」<「ややそう思う」>の割合は合わせて85%前後である。各項目の評価指数は、他の授業形態(「外国語」「演習」「体育)」のそれと比較して最も低い。過去との比較では、全ての項目において3年連続で、<「そう思う」><「ややそう思う」>の合計が増加している。一方で、「2. この授業の担当教員の説明はわかりやすかった」、「4. この授業の難易度・進度は自分にとって適切であった」、「5. この授業の担当教員は学生の質問や要望に応えた」は昨年度と比較して<「そう思わない」><「あまりそう思わない」>の合計が増加している。

外国語 各項目における「そう思う」<「ややそう思う」>の割合は合わせて88%前後である。各項目の評価指数は、授業形態別では概ね「講義」より高く、「演習」「体育」より低い。過去との比較では、全ての項目において3年連続で<「そう思わない」><「あまりそう思わない」>の合計が減少していたが、今年度は、「2. この授業の担当教員の説明はわかりやすかった」、「5. この授業の担当教員は学生の質問や要望に応えた」の<「そう思わない」><「あまりそう思わない」>の合計が増加している。

演 習 各項目における「そう思う」<「ややそう思う」>の割合は合わせて93%前後である。各項目の評価指数は、授業形態別では「体育」と並んで高い。過去との比較では、全ての項目において3年連続で、<「そう思う」><「ややそう思う」>の合計が増加し、<「そう思わない」><「あまりそう思わない」>の合計が減少していたが、今年度は、「2. この授業の担当教員の説明はわかりやすかった」、「4. この授業の難易度・進度は自分にとって適切であった」、「5. この授業の担当教員は学生の質問や要望に応えた」の<「そう思う」><「ややそう思う」>の合計が減少し、全ての項目において<「そう思わない」><「あまりそう思わない」>の合計が増加している。

体 育 各項目における「そう思う」<「ややそう思う」>の割合は合わせて90%前後である。各項目の評価指数は、授業形態別では概ね「講義」「外国語」より高く、「演習」と同程度の水準である。過去との比較では、「5. この授業の担当教員は学生の質問や要望に応えた」以外の項目において2年連続で、<「そう思う」><「ややそう思う」>の合計が増加している。一方で、全ての項目において昨年度と比較して<「そう思わない」><「あまりそう思わない」>の合計が増加している。

その他 4つの授業形態全てにおいて、「2. この授業の担当教員の説明はわかりやすかった」、「5. この授業の担当教員は学生の質問や要望に応えた」の<「そう思わない」><「あまりそう思わない」>の割合が増加している理由は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、急遽、遠隔授業が導入された影響と考えられる。



MR（医薬情報担当者）として、医師や薬剤師といった医療従事者に対し、医薬品や疾患についての情報提供を行っています。現在の部署では、特にリンパ腫や骨髄腫など「血液がん」領域の治療にあたる千葉県の大病院を中心に担当しています。自社の薬剤に関する情報に加え、治療に関する最新の研究成果（論文）を学び、いつでも医療者の求めに応じて答えら



武田薬品工業株式会社
日本オンコロジー事業部 血液腫瘍領域部
つげの まさる
柘野 勝 さん（15年仏卒）

仕事の現場から

Vol.13

卒業生に
仕事についての喜びや、
獨大生に向けてのメッセージを
語っていただきます。

いま夢中になっているものが いつか自分の強みになる

れる準備をしています。

診療所やクリニックなど地域の「かかりつけ医」になるような医療従事者を対象に、専門医から治療に関する情報提供を行う講演会を企画・開催することもあります。また、企業としてがん関連疾患の啓発活動を行っており、医療関係者が行う市民公開講座などをお手伝いすることもあります。こうした講演や講座を通して疾患について理解を深めてもらうことで、地域での治療を間接的にサポートしています。

病気にかかる、患者さん自身だけでなく家族など周りの人たちもネガティブな気持ちになることもあります。治療によりこうした状況を変えられる「医療の仕事」には、大学入学前から関心を持っていました。理系のイメージが強い業界ですが、MRなら文系出身者でも関わることが出来ます。医師への情報提供やサポートを通して、命に関わるような疾患の治療にも貢献できるところに、やりがいを感じています。

失敗すること、もちろんあります。医師が多忙な時に求めている情報提供を一方的に伝えてしまい叱られたこともありました。改善のきっかけになったのは、尊敬できる人たちと出会えたこと。特に、自らの仕事や時間の使い方にストイックな医師の姿は、自身の仕事に対するモチベーションにもつながりました。



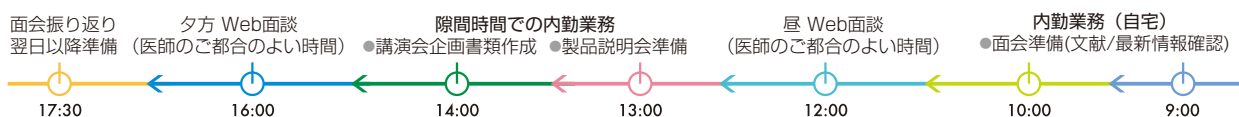
社内ではデジタルトランスフォーメーション推進にも携わっています。

現在は新型コロナウイルスの影響でテレワークが中心となり、医療機関を訪問することも難しくなりました。それでも、オンラインで医師に情報提供する場合、遠方の社内各部門担当者が同席し、チームで説明にあたるなど、こうした状況だからこそできること得られる経験があるのではないかと考えています。

常々感じるのは、学生時代を含めこれまでの経験がすべて現在の自分につながっているということです。在学中には「ダンスフリースタイル」の代表を務めました。150人以上の部員と関わる中で、それぞれの話に耳を傾け、相手の考えや気持ちを推し量る習慣が身につきました。これは、医師をはじめ多くの方と関わるMRの仕事に役立っています。

目の前にある事物にいまは価値が分かんなくても、後になって意味を持つことがあります。学生のみなさんには、自分が夢中になれることは、どんなことでもやり続けてもらいたいのです。

柘野さんのある一日のタイムスケジュール



※ 新型コロナウイルスの影響前は車移動であったが、現在、移動時間が大幅にカットされ、これまで以上に有効活用可能な時間が増えた。

獨協大学人権宣言を策定

8月15日、本学は「獨協大学人権宣言」を公表しました。この宣言は、学生および教職員の行動規範となるものです。互いの尊厳を守ることやその環境整備を推進することだけでなく、多様性が教育研究成果を生み出すことや自治体など地域との連携にも触れているのが特徴です。今後は、その実現に向けた啓発活動や制度整備等にこれまでも増して積極的に取り組んでまいります。

獨協大学人権宣言

獨協大学は、「大学は学問を通じての人間形成の場である」という建学の理念を実現するために、誰もが平等な教育研究の機会を与えられ、その人権が擁護され、人として成長できる場を創造することを宣言します。

- 1.獨協大学は、国や地域の法令、建学の理念、学則などの規範を遵守します。
- 2.獨協大学は、すべての人間は生まれながらにして平等であるとの認識に立ち、人権を擁護し、多様性を尊重します。学生、教職員、その他関係者は、互いの尊厳を守ります。
- 3.獨協大学は、国籍、性別、宗教、年齢、障がいの有無、性的指向・性自認などによる偏見や差別を許しません。人間の尊厳を損なう行為を決して放置せず、健全な教育研究環境と職場環境の整備を加速させます。
- 4.獨協大学は、学生、教職員、その他関係者が持つ多様性が創造的な教育研究成果を生み出す体制を整備します。
- 5.獨協大学は、地域との連携を深めながら、誰もが互いに人格と個性を認め合い、支え合う共生社会の構築に貢献します。

2020年8月15日 獨協大学

奨学基金充実のための寄付金募集事業報告

寄付者ご芳名(2017年10月1日～2020年9月30日)

■ 申込件数(延件数) : 591件 ■ 総額 : 22,901,000円

個人

法人

(氏名・法人名五十音順。敬称略)

教職員による学生の学業継続支援のための寄付金募集報告

寄付者一覧(2020年5月26日～10月15日)

■ 申込者数 : 164名 ■ 総額 : 22,300,817円

(氏名五十音順。敬称略)

ぶらりらいぶらり Vol. 97

OneSearch で、世界の文献を検索!

新しい検索システム、OneSearch を導入しました。

これまで別々に検索していた、OPACやデータベース、電子ジャーナル・ブックを、まとめて検索できます。

[図書館トップページ]

【名称】

OneSearch(まとめて検索)

【概要】

OPAC、データベース(一部除く)、電子ジャーナル・ブック、インターネットで公開されている学術文献を、まとめて検索できるシステム。

【検索対象データベース】

OPAC、CiNii Articles、EBSCOhost、JSTOR、聞蔵Ⅱビジュアル、JapanKnowledge Lib、日経BP、東洋経済DCL など。

【有効な検索法、便利な機能】

- ・キーワードを入力し検索後、検索結果画面の左側の、絞り込み、を使って絞り込む。
- ・検索結果画面右側の、Google ボタンで、入力したキーワードを引き継いだまま、インターネットを検索できる。

【アクセス】

- ・図書館トップページ → 図書、資料を探す → OneSearch(まとめて検索)
- ・図書館トップページから下に少しスクロールすると、OneSearch の検索ボックスあり。



編集 総合企画部(中央棟2階) TEL048-946-1635 kouhou@stf.dokkyo.ac.jp

学生記者 [五十音順]	伊藤 あす美(国関法2年)	宇野 季咲良(営4年)	遠藤 夏乃(済2年)	遠藤 瑞稀(言4年)
	川上 徹也(環3年)	窪田 実優(英4年)	越川 響(律4年)	小林 優麻(律3年)
	高橋 弘行(済2年)	土屋 香奈(英4年)	初澤 汐里(独3年)	深見 勇斗(国関法4年)
	古田 千夏(独3年)	保科 南実(交4年)	目谷 望実(営4年)	

